

**平成29年度進捗評価シート**  
**湯浅町歴史的風致維持向上計画(平成28年3月26日認定)**

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 良好な景観の形成に関する施策との連携	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	.....	3
2 重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業	.....	4
3 大仙堀環境整備事業	.....	5
4 熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業	.....	6
5 街路灯等整備事業		
6 案内板等整備事業	.....	7
7 湯浅駅周辺整備事業	.....	8
8 文化財等調査事業	.....	9
9 空き家利活用事業	.....	10
10 文化財公開等普及啓発事業	.....	11
11 伝統行事等継承支援事業	.....	12
12 特産物等PR総合支援事業	.....	13
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用の普及啓発	.....	14
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 日本遺産認定(ニュース&報道 5チャンネル)	.....	15
古民家再生で連携協定		
しょうゆ造り学ぼう 発祥の地、3小学校で授業		
「醤油発祥の地・湯浅」PRを 日本遺産記念シンポ		
日本遺産生かし宿泊施設に再生 空き家対策と町おこし		
醤油発祥の地・湯浅 漫画と和食で国内外にPR		
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』日本遺産認定	.....	16

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) ..... 17

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本計画の実現、推進に向けて、まちづくり企画課、教育委員会及び産業観光課伝建推進室、建設課が中心となり、国、県等関係機関との協議を行うとともに適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置した推進協議会は、計画の実施に関する連絡・調整を行う。なお、必要に応じて、湯浅町都市計画審議会や湯浅町文化財保護審議委員会、湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会、文化財所有者等と連絡調整を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

関係機関の連携の下、計画の推進を図った。  
 法定協議会である「湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会」を11月27日と3月1日に開催し、計画の進行管理・評価について意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度より町組織の機構改革に伴い、担当課室等を変更。

状況を示す写真や資料等  
 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会の様子



湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会名簿

湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会委員構成		
所 属	氏 名	備 考
湯浅町文化財保護審議会委員長	生田 俊示	学識経験者
京都大学大学院工学研究科教授	神吉 紀世子	学識経験者
和歌山信愛女子短期大学生活文化科教授	千森 督子	学識経験者
九度山町教育委員会社会教育指導員	山本 新平	学識経験者
湯浅町区長連絡協議会会長	深野 英昭	市町村が認める者
湯浅町商工会会長	北村 忠治	市町村が認める者
湯浅町観光協会会長	前田 芳宏	市町村が認める者
湯浅町まちおこし連絡協議会顧問	尾崎 定平	市町村が認める者
湯浅伝建地区保存協議会会長	木下 智之	市町村が認める者
顯國神社宮司	長尾 常氏	文化財所有者等
國津神社宮司	櫻原 誠	文化財所有者等
勝楽寺住職	江川 瑞峰	文化財所有者等
湯浅町副町長	中 美二	市町村
湯浅町議会議長	山家 敏宏	市町村
湯浅町教育委員会教育長	楠 義隆	市町村
和歌山県文化遺産課長	坂口 真史	都道府県
和歌山県都市政策課長	伊藤 敏起	都道府県
有田振興局地域振興部長	松尾 孝志	都道府県
有田振興局建設部長	雑賀 宗博	都道府県

※オブザーバ：近畿地方整備局

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
良好な景観の形成に関する施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 [都市計画法]本計画における重点区域は、一部を除き都市企画区域内に含まれており、都市計画マスタープランにおいて、豊かな自然・歴史的資源を取り入れたまちづくりを推進する旨定めている。都市計画区域に指定されていない周辺地域においても、中心市街地等と一体的な整備や地域間の連携を強化することで課題に対応し、バランスのとれた整備を進めることとする。  
 [景観法]本歴史的風致維持向上計画の内容を反映した景観計画の策定等を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

良好な景観の形成に資するものとして、上位計画である湯浅町長期総合計画や有田圏域都市計画区域マスタープラン(和歌山県策定)に則し、関連計画である歴史的風致維持向上計画との整合性を図りながら湯浅町都市計画マスタープランの改定をおこなった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

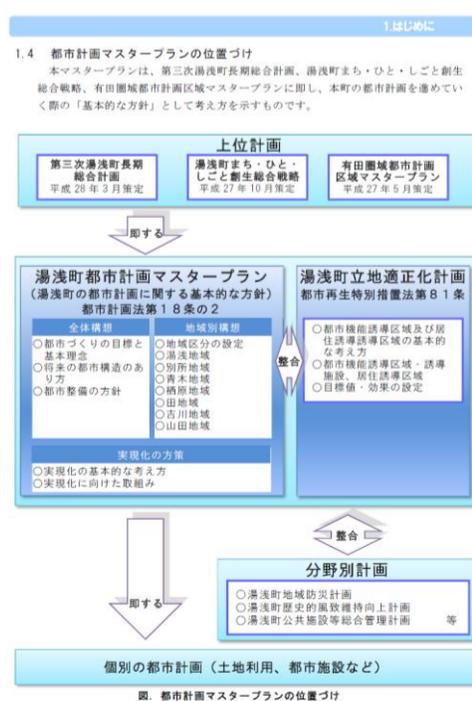
状況を示す写真や資料等

湯浅町都市計画審議会

湯浅町都市計画マスタープラン改定委員会(庁内委員会)



湯浅町都市計画マスタープラン(関係箇所抜粋)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物に特定している歴史的建造物の保存修理とその他の建築物の修景による整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修復や修理を実施することにより、適切な保存を図ることができた。

□平成29年度の実績

重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 ・建築物の修理に対する補助 2件 ・工作物の修理に対する補助 1件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

重要伝統的建造物群保存地区内における修理・修景に対する補助



建築物の修理作業風景



修理前



修理中

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 町単独事業、文化財建造物等を活用した地域活性化事業(甚風呂旧借家棟改修)

計画に記載している内容 歴史的風致を活かしたまちづくりの拠点施設として必要な歴史的建造物を保存・整備し、重要伝統的建造物群保存地区の公開活用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定管理者制度を活用し、昔ながらの生活様式を体験できる甚風呂及び観光客の散策拠点となる湯浅まちなみ交流館を公開活用することにより、歴史文化への理解を深めるとともに観光客数の満足度向上につながった。また、平成29年度は、甚風呂の旧借家棟について公開活用に資するための改修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等  
指定管理者制度を活用して公開活用を行った施設



歴史民俗資料館甚風呂



湯浅まちなみ交流館

甚風呂旧借家棟改修工事



改修前



改修後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
大仙堀環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の象徴である大仙堀の保存と水辺環境の整備を行い、住環境整備と観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大仙堀の景観と水辺環境の再生整備を進めるにあたり、堀内の環境改善方法の検討と、周辺の排水流路などの現状把握のための調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等  
大仙堀への排水状況の現地確認



大仙堀周辺の排水管と流路の調査



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～、平成14年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容  
 熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の街路について、良好な市街地環境の保全整備と来訪者の周遊性を高めるために、復元、再生、町並みとの調和、歩行者の利便性など整備手法を十分検証し、美装化を進める。  
 重要伝統的建造物群保存地区とその周辺や熊野古道において、良好な市街地環境にふさわしい街路灯などを整備し、歴史的景観の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

熊野古道と重伝建地区周辺の道路等において、歴史的景観の保全整備や利用者の利便性向上に資することを目的とした整備方針を定めるにあたり、地元住民や商店街代表、観光協会会員などを対象にワークショップを開催し、18名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

11月29日になぎホールで行われたワークショップの様子



1月31日に駅前多目的広場で開かれたワークショップ結果報告会の様子



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺における案内板や主要な文化財などの説明板の多言語化・統一デザインを検討し設置するほか、来訪者の周遊性と利便性の向上のため必要な場所には、オープンスペースを活用した広場、駐車場、トイレなど、周遊性向上のための施設の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国土交通省所管補助事業「歴史的風致活用国際観光支援事業」を活用し、観光案内版等のサインについて、歴史的景観への配慮と外国人観光客の利便性向上のための多言語化に関するガイドラインの策定を進めた。事業実施にあたっては、湯浅町歴史的風致活用国際観光協議会を11月27日と3月1日に開催し意見を求めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

湯浅町歴史的風致活用国際観光協議会



観光案内サインの分類

案内サイン	誘導サイン	説明サイン
ピクトグラムや、イラストなどを駆使し、現在地から周辺混交施設等の位置関係を記した観光案内地図等。 -湯浅町内の案内サイン-	目的とする観光案内施設への方向及び距離等を表示し誘導するためのサイン -湯浅町内の誘導サイン-	地域や、観光施設の説明、利用方法などを記載した文章が基本となるサイン。 -湯浅町内の説明サイン-

それぞれの、観光案内サインがその役割を十分にはたせる様に、表示要素や設置方法等の基本的な方針を定義づけるためにガイドラインの策定を行う。しかし、すべてにおいて杓子定規な整備を目指すものではなく、湯浅町に根差した文化・歴史を鑑みて、転合のとれた、サイン整備を目指す。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
湯浅駅周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 昭和2年(1927)開業当時の駅舎の文化財指定等による保存・整備をはじめ、町の玄関口である湯浅駅とその周辺において、歴史的な魅力の発信や観光客受入機能の強化を目的とした総合的な駅周辺整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

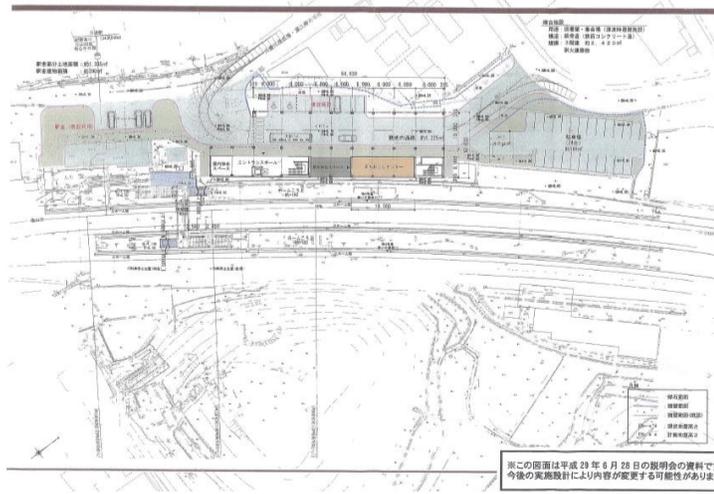
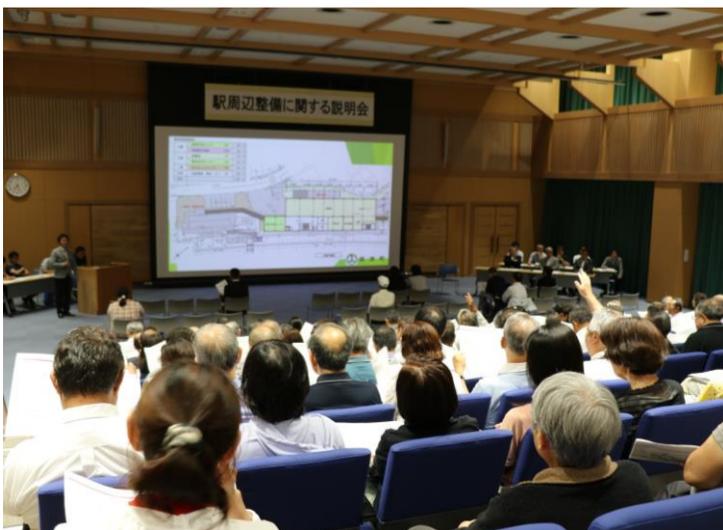
6月に開催した駅周辺整備に関する説明会では町民123名が出席。その後、図書館やまちづくりセンターなどの賑わいを創出する機能と災害時の避難場所など防災機能を兼ね備えた複合施設建設のための実施設計業務を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等  
整備が急がれるJR湯浅駅周辺



6月28日になぎホールで行われた住民説明会の様子



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財等調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、埋蔵文化財発掘調査等事業

計画に記載している内容 町内にある建造物、史跡、民俗文化財などの文化財の調査を実施し、学術的価値を確認すると共に、未指定文化財の指定等や、既指定等文化財の上位指定を進める。また、醍醐寺金堂の湯浅での所在地の研究や、歴史資源のリストアップとアーカイブ化を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に、未指定文化財である湯浅城跡の文化財指定を進めるため、近隣町と連携し、指定に向けた調査等を行う実行委員会を組織し、継続して調査を実施した。その一環として、湯浅城跡の詳細な状況を確認すべく航空レーザ測量を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

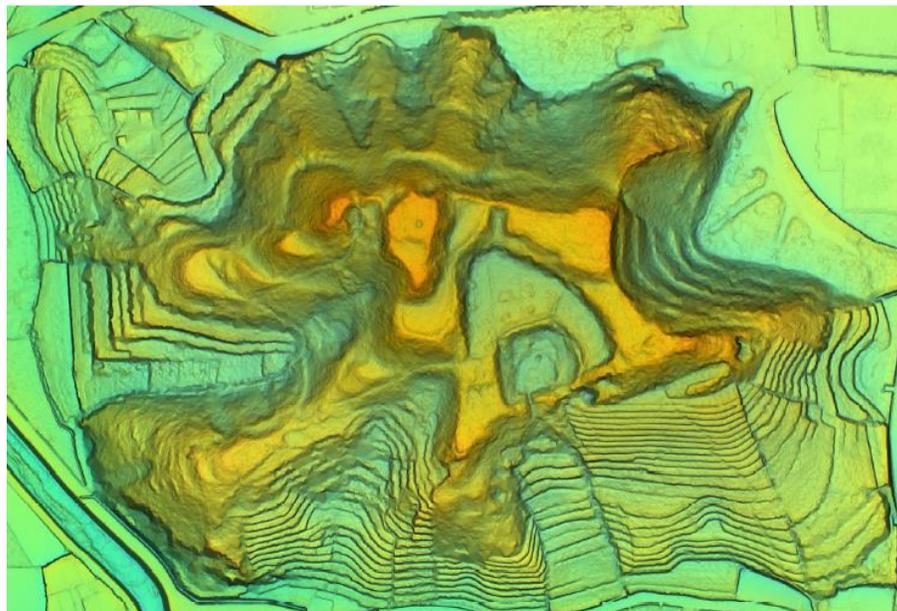
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等  
文化財指定を目指す湯浅城跡



航空レーザ測量による地形起伏図



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
空き家利活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業、文化財建造物等を活用した地域活性化事業

計画に記載している内容 重点区域を中心とする町内の空き家において、まちづくりと連携した様々な活用提案の支援を行う。また、UIターン移住の希望者や農業・漁業の新規就労者の住まいなど、定住促進のための利活用の促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区内の空き家を宿泊体験等施設として整備し、観光協会会員から募って選ばれた事業者が運営を開始。甚風呂旧借家棟は歴史資料館甚風呂の機能拡充のために整備し公開。いずれも和歌山県ヘリテージマネージャーの育成に資する取組みにおいて設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

宿泊体験等施設(千山庵)



甚風呂旧借家棟



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財公開等普及啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 本町固有の歴史的風致に関する文化財の公開・展示や講演会、ワークショップ、見学会の開催、パンフレット等の作成など、さまざまな形での情報発信や普及啓発のための取組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

9月9日から10月5日まで、和歌山県立博物館において開催された特集展示「醤油の町・湯浅」に、町が所有する醤油醸造家が所蔵していた資料を出展した。また、10月には、醤油醸造のまち湯浅の食文化の歴史について、11月には現在進行中の湯浅城跡等調査の一環で進められている中世石造物調査の経過報告等について、それぞれ町民歴史講座を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

和歌山県立博物館で開催された特集展示「醤油の町・湯浅」



町民歴史講座「食文化の歴史と湯浅」(54名)  
講師:前湯浅町教育長 垣内 貞氏

町民歴史講座「石造物から見た湯浅氏」(54名)  
講師:元興寺文化財研究所 佐藤 亜聖氏



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
伝統行事等継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 町内各所にある社寺等で継承されている祭礼などの伝統行事や民俗 芸能、町内に伝わる風習や食文化など、幅広い伝統文化を継承するための記録・用具等整備・後継者育成・情報発信など総合的な支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統行事等を継承するため、町内で行われた秋祭りについて、町広報誌に掲載し、情報発信に努めたほか、古くから伝わるシロウオ漁を継承していくため、紀州湯浅のシロウオまつりを開催し、県内外から約4,000人が来場した。また、湯浅町歴史文化財活用実行委員会によって、顯國神社に伝わる御所車の修復を行い、行列の再興を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等  
顯國神社御所車の修復



御所車の修復完了写真



大正初期の写真

3月に行われた紀州湯浅のシロウオまつりの様子  
(左:昔から続くシロウオ漁、右:大勢の方々でにぎわう様子)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
特産物等PR総合支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成14年度～

支援事業名 日本遺産魅力発信推進事業、地方創生拠点整備交付金事業

計画に記載している内容  
 醤油・金山寺味噌、シラスをはじめとする水産物、柑橘類などのPRや情報発信において、歴史的価値付けをプラスし、地域ブランドの確立を目指してPR等を推進する。同じく、特産物を生産する歴史的環境保全のため、湯浅湾とその周辺に広がる段々畑の歴史的景観の保全整備等に努め、担い手育成など生産事業者に対する支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「醤油醸造の発祥の地」として日本遺産認定を受けた本町の醤油醸造文化について広く発信するとともに、特産物の流通による地域活性化を目的としたシンポジウム「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅」と「平成菱垣廻船 紀州湯浅うまいもん物産展」を3月に開催し、約430名の来場があった。  
 また、重伝建地区北側の警察官舎跡地に特産品の流通の円滑化や本町の観光の振興を図るための特産物流通物販センターを整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

美味しい日本遺産 日本遺産認定記念シンポジウム(日本橋三井ホール)



湯浅町特産物流通物販センター

建設中



完成



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 甚風呂をはじめとした拠点となる施設、場所においては、町民や来訪者の学習、文化、憩い、観光レクリエーションなどにつなげていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

湯浅伝建地区保存協議会により下記の取組が行われた。  
 ○甚風呂の公開 ・観光客を中心に大変好評を得ている甚風呂を町の指定管理制度を用いて公開した。  
 ○まちなみ瓦版の発行 ・保存協議会の取組みを掲載したまちなみ瓦版を制作し、2ヶ月に1回のペースで伝建地区内に配付したほか、保存協議会ホームページに掲載した。  
 ○重伝建地区選定10周年記念誌刊行 湯浅における町並み保存のあゆみを記した冊子の作成

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

湯浅伝建地区保存協議会が発行したまちなみ瓦版(平成29年度は6回発行)  
 重伝建地区選定10周年記念誌刊行



甚風呂の活用



イベントでの利用 (フルーツ演奏会)



課外学習の場として

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成29年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
日本遺産認定(ニュース&報道 5チャンネル!)	平成29年4月29日	テレビ和歌山	
古民家再生で連携協定	平成29年7月1日	日本経済新聞	
しょうゆ造り学ぼう 発祥の地、3小学校で授業	平成29年7月15日	毎日新聞	
「醤油発祥の地・湯浅」PRを 日本遺産記念シンポ	平成29年7月16日	読売新聞	
日本遺産生かし宿泊施設に再生 空き家対策と町おこし	平成29年9月17日	毎日新聞	
醤油発祥の地・湯浅 漫画と和食で国内外にPR	平成29年11月27日	産経新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「醤油醸造発祥の地」としての日本遺産認定により、本町の歴史まちづくりに対する注目度が大きくなり、新聞やテレビなどの報道機関に採り上げられる機会が増加した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	本町における歴史まちづくり推進の拡大と加速化。

状況を示す写真や資料等

日本遺産認定の記念セレモニー(重伝建地区)と記念フォーラム(なぎホール)



一般社団法人ノオト・紀陽銀行・湯浅町3者による包括連携協定

小学生しょうゆ造り体験



評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』日本遺産認定

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本町の歴史的風致の一つである醤油醸造において、その歴史と伝統を語るストーリー『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』が平成29年4月28日に日本遺産に認定された。歴史的風致維持向上計画を策定していたことにより、単独の自治体による日本遺産認定申請が可能となった。重伝建地区選定から歴まち計画認定、そして日本遺産認定へと一環した歴史まちづくりの連動性が表れている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり  
□計画の進捗に影響なし

本町における歴史まちづくり推進の拡大と加速化。

状況を示す写真や資料等

日本遺産の概要と構成文化財(建造物・祭礼行事・食文化など)

### 日本遺産「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅

- 文化庁により平成27年に創設された「日本遺産 (Japan Heritage)」制度
- 地域の歴史的魅力や特色を通じて、文化・伝統を語るストーリーを文科省が認定、地域に点在する遺産を活用し発信することで地域活性化を図る
- 平成29年4月28日 醤油醸造の歴史と伝統を受け継ぐ湯浅町のストーリーが、第3弾の日本遺産に認定(認定17件/申請数79件 認定総数54件)





日本遺産

■醤油の香り漂う町並み(重要伝統的建造物群保存地区)

◆ストーリーの概要

醤油の起源は、遠か中世の時代、中国に渡り修行を積んだ禅僧が伝えた特別な味噌に始まる。この味噌の桶に溜まった汁に紀州湯浅の人々が工夫を重ね、生まれたのが現在の醤油であるという。

醤油の醸造業で栄えた町並みには、重厚な瓦葺の屋根と繊細な格子が印象的な町家や、白壁の土蔵が建ち並ぶ。通りや小路を歩けば、老舗醸造家から漂ってくる醤油の芳香が鼻をくすぐり、醤油造りの歴史と伝統が、形、香り、味わいとなって人々の暮らしの中に生き続けている。

和歌山県湯浅町 9



## 法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第2回湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 平成30年3月1日(木)	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「良好な景観を形成する施策」で都市計画法と景観法に関する事を挙げているが、都市計画法と景観法だけでなく、様々な法令や制度の活用の拡大を検討してはどうか。</li><li>・大仙堀の水の浄化などの整備を行い、景観を整え観光振興につなげてはどうか。</li></ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歴まち計画の中で、都市計画法、景観法、屋外広告物法を位置づけており、様々な施策を幅広く活用してまいります。</li><li>・大仙堀の整備等で観光振興につなげていけるよう、できることから取組みます。</li></ul>	